中学校１年【数学】『未来へひろがる　数学１』（啓林館）　（例）

教科書を活用した家庭学習例～計画的な家庭学習へ向けて～

|  |  |
| --- | --- |
|  | 課題内容 |
| 第１回 | 【単元名】１章　正の数・負の数　【ページ】１２～１４ページ  【学習の流れ】  １　いろいろな日本一があることを知り、青と赤の２種類の違いは何かを考える。  ２　「－」がつく数の意味を緑枠に書かれている説明を読んで確認し、問①の問題を解く。  【学びの確認】  ・問②の問題で確認しましょう。 |
| 第２回 | 【単元名】１章　正の数・負の数　【ページ】１５ページ  【学習の流れ】  １　緑枠に書かれている太字に注目して説明を読み、問③の問題を解く。  ２　赤線の枠囲み、緑枠を読んで「整数」「正の整数」「負の整数」「自然数」を区別する。区別できたら、問④を解く。  【学びの確認】  ・１６ページ練習問題①②で確認しましょう。 |
| 第３回 | 【単元名】１章　正の数・負の数　【ページ】１６ページ  【学習の流れ】  １　「ひろげよう」に挑戦し、負の数を数直線に表す。  ２　数直線が「０」より左側に伸びることで０より小さい数が表せることが分かったら、問⑤、問⑥を解く。  【学びの確認】  次の問題を解いてみよう。  ・数直線上で－４と＋２は、どちらが右にありますか？  ・数直線上で－５と―２は、どちらが右にありますか？  ・数直線上で－３と－2.9は、どちらが右にありますか？ |

中学校２年【数学】『未来へひろがる　数学２』（啓林館）　（例）

教科書を活用した家庭学習例～計画的な家庭学習へ向けて～

|  |  |
| --- | --- |
|  | 課題内容 |
| 第１回 | 【単元名】１章　式の計算　【ページ】１２～１５ページ  【学習の流れ】  １　世界一周道路について予想を立ててみる。計算によって求める。  ２　緑枠に書かれている説明を太文字に注目して読んで確認し、それぞれの用語に対し例を作ってまとめる。  ３　例１を参考に、多項式はいくつかの項に分けられ、係数を求めることができる。  【学びの確認】  ・問①の問題で確認しましょう。  ・３*x* , －*ab*2の次数を求めましょう。 |
| 第２回 | 【単元名】１章　式の計算　【ページ】１６ページ  【学習の流れ】  １　多項式の次数の求め方を赤線の枠囲みで確認し、緑枠に書かれている太字の表し方で、問②の問題を解く。  ２　「同類項」について赤線の枠囲み、緑枠を読んで問③を解く。  【学びの確認】  ・１７ページ問④（１）～（４）の式の同類項を答えましょう。 |
| 第３回 | 【単元名】１章　式の計算　【ページ】１６～１８ページ  【学習の流れ】  １　同類項のまとめ方を知り、例３、例４をヒントに問④を解く。  ２　例５、例６の考え方を緑線の枠囲み「ふりかえり1年」と対比させて理解を深める。  【学びの確認】  ・問⑤、問⑥を解きましょう。 |

中学校３年【数学】『未来へひろがる　数学３』（啓林館）　（例）

教科書を活用した家庭学習例～計画的な家庭学習へ向けて～

|  |  |
| --- | --- |
|  | 課題内容 |
| 第１回 | 【単元名】１章　式の展開と因数分解【ページ】１２～１５ページ  【学習の流れ】  １　計算のきまりをけいたさんが説明した図をもとにして考える。  ２　今まで習った分配法則を使って、例１、例２を考える。  【学びの確認】  ・問①の問題で確認しましょう。 |
| 第２回 | 【単元名】１章　式の展開と因数分解【ページ】１５ページ  【学習の流れ】  １　多項式と単項式の除法では、学習した多項式÷数の場合と同じように計算できることを例３で確認する。  ２　割る数が分数のときは、逆数をかける（分配法則を使って）ことで解けることを例４で確認する。  【学びの確認】  ・問②の問題で確認しましょう。 |
| 第３回 | 【単元名】１章　式の展開と因数分解【ページ】１６～１７ページ  【学習の流れ】  １　多項式と多項式の乗法の考え方を、図や青枠をヒントにして   1. 図を使って考える 2. 一方の多項式を1つのものとみて計算する   の２つのパターンで考える。  ２　例５の解き方を参考にして、問③を解く。  ３　例６、例７から展開したあと、同類項をまとめることができることを確認する。  【学びの確認】  ・問④、問⑤の問題で確認しましょう。 |